

事務局

専務理事 金沢 慶浩

事務局長 木村 達也

副事務局長 大嶋 朋裕

《基本方針》

現在の MAK・JC では、会員の減少、会議や事業の参加率低下などが懸念され、持続可能な組織運営に向けて、組織の在り方を見つめ直す機会が求められます。その上で、事務局では各会議の設営や出席の管理に加え、利他の精神で各委員会のサポートを担い、強固な組織運営を見据えた MAK・JC の扇の要として、協働意思を醸成していく必要があります。

まずは、ステークホルダーの方々に、MAK・JC の運営方針や運動への理解を深めていただくために、現役・シニアクラブ合同新年会を行い、地域を担う他団体との連携を強固かつ円滑にしていきます。そして、各種会議の全員参加を目指すために、メンバー同士が意思疎通を図れる場を作り、参加を促すことで、メンバー全員の協働意思が醸成され、参加しやすい環境となり、組織を育むチームワークを構築します。さらに、近隣 LOM との交流を深めるために、合同例会を開催し、意見交換などを行うことで、互いの取り組みや考えを共有し、今後の運動に更なるインパクトと発展をもたらします。また、MAK・JC の運動を幅広く周知するために、HP・SNS を活用し、各委員会の事業や例会アワーなどの様々な取り組みを分かり易く発信することで、MAK・JC の運動に理解を深めていただきます。

今年度は、理事長が掲げる自利と利他の調和を胸に、事務局が扇の要となり、メンバー一人ひとりの協働意思が醸成され、意思疎通が十分なものとなり、メンバー全員が理事長の目指す共通目的に向かってワンチームとなる強固な組織運営を実現します。

《運営方針》

1. MAK・JC の本年度の運営方針や活動を発信するため新年会を開催します。(1月)
2. 理事会・総会の議事録を作成します。(通年)
3. 総会・例会・理事会の設営を行います。(通年)
4. HP 及び SNS を活用した広報活動を行います。(通年)
5. 公益会計基準に則った適正な財務管理を行います。(通年)

《事業計画》

1. 現役・シニアクラブ合同新年会の開催
2. 坂井 JC 合同例会

《事業予算》

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 現役・シニアクラブ合同新年会の開催 | 30000 円 |
| 2. 坂井 JC 合同例会 | 0 円 |

合 計

30000 円